

日中国際シンポジウム  
少子高齢化社会への  
人文学研究からの  
アプローチ

2015年

11月28日(土)

岡山大学津島キャンパス

講演会場: 文法経講義棟・12番講義室  
報告会場: 文法経講義棟・13番講義室

▼プログラム

9:50 開会、趣旨説明、講演者紹介

10:00  
~  
11:00

講演① 鄭 吉龍 (北京万明医院院長)  
「北京万明医院とその看取りの世界  
—All bright の理想を目指して—」

講演

11:10  
~  
12:10

講演② 森本 尚俊 (特別養護老人ホーム  
・みなみがた荘施設長)  
「特別養護老人ホームの役割  
—生活から看取りまで—」

12:10~13:15 お昼休み

13:15  
~  
14:05

報告① 任 蜜林 (中国社会科学院)  
「儒家の養老思想及び  
その現代社会における意義について」  
コメンテーター: 小泉 礼子 (東北大学大学院)

研究  
報告

14:05  
~  
14:55

報告② 徐 艶東 (中国社会科学院)  
「中国と西洋との間に起きた  
死生観に関する交渉と衝突」  
コメンテーター: 出村 和彦 (岡山大学)

14:55  
~  
15:45

報告③ 石澤 理如 (東北労災看護専門学校)  
「其弊は廃すべし、其制は廃すべからず  
—穂積陳重『隠居論』における社会進化と「老い」—」  
コメンテーター: 張 慧 (北京日本学研究中心)

15:45~16:00 休憩

16:00  
~  
16:50

研究  
報告

報告④ 本村 昌文 (岡山大学)  
「日本における老年学研究  
—橘寛勝の老年学研究をめぐって—」  
コメンテーター: 徐 嘉 (東南大学)

16:50  
~  
17:40

報告⑤ 周 琛 (東南大学)  
「中国における  
高齢者ターミナルケアの歴史と現状」  
コメンテーター: 吉業 恭行 (秋田工業高等専門学校)

17:40~17:50 総括 王 珏 (東南大学)

▼お問い合わせ

担当: 本村 昌文  
電話: 086-251-7395  
メール: tomtom@okayama-u.ac.jp

主催: 科研費・基盤研究B「ケアの現場と人文学研究との協働による  
新たな〈老年学〉の構築」

共催: 中国社会科学院応用倫理研究センター、岡山大学文学部プロジ  
ェクト研究「〈介護者〉の人生に即した介護と看取りの分野横断的研究」